

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	2026年 1月 22日		～	2026年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14人	(回答者数)	11人
○従業者評価実施期間	2026年 1月 22日		～	2026年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数)	13人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 21日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事務所の広さ、過ごしやすさ	生活空間と訓練ルームを設け、子どもたちがメリハリをつけて様々な活動を行えるようにスペースを工夫。 また、発熱時など際はゾーニングも行きやすく、感染が拡大することのないように部屋を使い分けしやすい。 床材もスポンジ素材を採用、大きいプレイマットも広げられるスペースもあり、活動の幅を広げている。	反対に部屋が分かれているため、スタッフが少ない時は、一方の部屋のみに制限しないと見守りが不十分になる可能性が考えられる。毎朝のミーティングでの、一日の流れの確認や、必要に応じて一方の部屋のみでの活動を行うなど、危険がないように生活空間を設定していく必要がある。
2	スタッフ間での連携・共有ができる体制を整えている	研修や訓練を安全計画内の年間計画にて作成し、研修の資料作成から発表も全スタッフで担当を決めていることで、必要な訓練・研修を毎月漏れなく実施できている。 その中で共有すべきなどがあれば話し合いを行い、各事業所ごとには2か月に1回の全体ミーティングを実施。不明点や困り事について改善点を話しあう機会を設けている。	全員のスタッフが把握できていないことがないように、グループLINEでの全体周知や、朝のミーティングで必要事項を伝えるなど、こまめに連絡・相談をとりながらより体制を整えていく。
3	保護者が事業所の支援に満足している	日々の様々な遊びのなかに季節に応じた行事を組み込み、朝の会では歌や絵本の内容を都度変更している。 お出かけや日常でも公園までのお散歩や、お買い物なども実施。普段の活動を日々SNSにて発信していることで、普段の様子を知ってもらう機会を設けている。 安全教育として資料の配布も継続している。	参観などイベントの実施が少なく、保護者同士の交流の機会がなかなか取れなかったため、来年度実施を検討中。 より活動の内容や安心して過ごせる場所であることを知っていただく機会を増やしていきたい。 自然災害時などの対応等も含め、資料の配布で周知する場面を増やしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部への研修や、地域との交流が不十分	地域との交流はどのように進めればいいのかの方法が難しい点である。 外部機関との連携をとる体制づくりをまず行わなければいけない。	外部の研修への参加を今後予定しており、スタッフ数名でも参加したいものを受けられるようにしていく。 市長村や公的団体へ方法の助言を聞くなどの取り組みをしていきたい。
2	事業所の説明や個別支援計画の内容についてなど、より詳しい説明を行う必要がある。	送迎時などのコミュニケーション不足が考えられる。 個別支援計画についての内容も個別性を踏まえた内容であることを、十分に伝えられていない可能性がある。	限られた時間ではあるが、些細なことでも話し合うようにコミュニケーションを常に密に取るように心がけ、その内容も含みながら個別支援計画等の作成、説明を行うよう取り組む。
3			